

1000年先の未来へ。  
美しい里、豊かな海



かがわ里海大学2021 ステップアップ講座

# ボードゲームから 里海を考える講座

開催しました!



- 日時 2021年(令和3年)5月8日(土) 13:30~16:30
- 会場 香川大学幸町キャンパス 研究交流棟6階 第一講義室
- 講師 はしぐち つよし氏(ボードゲームデザイナー) 谷 益美氏(ファシリテーター) 横山 昌太郎氏(森林インストラクター・博士[農学])

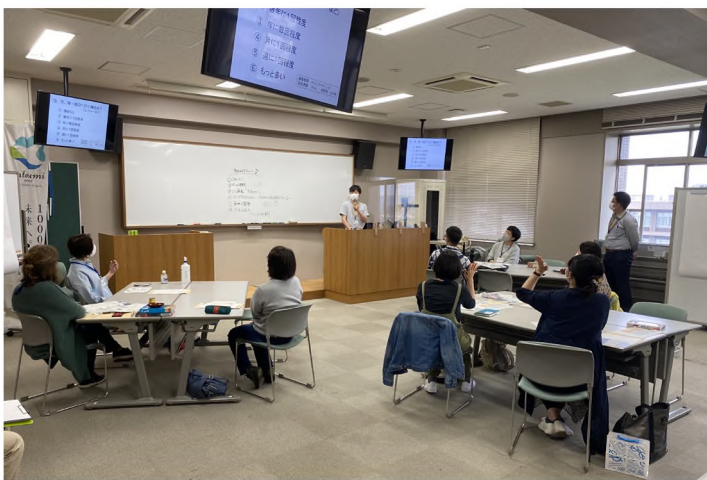
5月8日土曜日、香川大学研究交流棟で、かがわ里海大学2021ステップアップ講座「ボードゲームから里海を考える講座」を開催し、9名が講座に参加しました。講師に、ボードゲームデザイナーのはしぐちつよし氏を迎え、ファシリテーターの谷 益美氏、森林インストラクターの横山昌太郎氏とともに講座を開催しました。

この講座は、里海について学ぶことができる里海ゲーム教材制作プロジェクトの第2弾として開催し、既存のボードゲームを実際にプレイして、里海ゲーム教材にどのように活かしていけるかを考察しました。



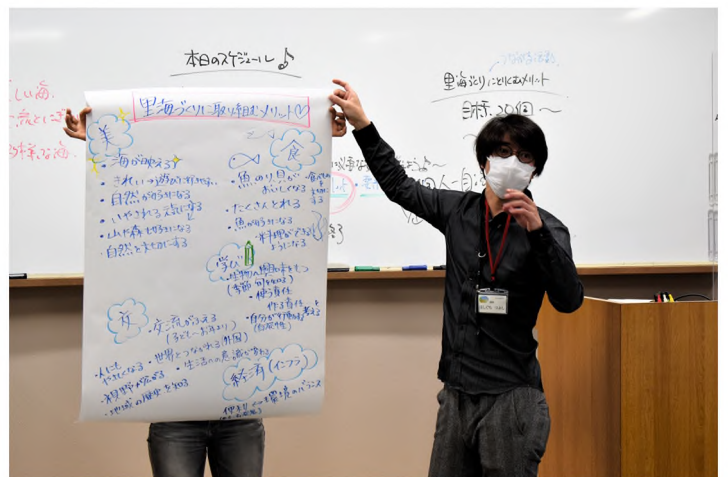


最初に、グループに分かれて既存のボードゲームを実際に体験しました。講師からはボードゲームの持つ仕組みや仕掛けなどについても説明がありました。受講生はゲームの結果に一喜一憂、楽しみながら体験しました。



続いて、環境管理課職員より、「かがわの里海づくりとは？」と題してミニ講義を行いました。

香川県が取り組んでいるかがわ里海づくりビジョンでは、海だけではなく山・川・里(まち)も含めて、わたしたちが適切に関わることで、「交流と賑わいのある海」「美しい海」「生物が多様な海」という目指すべきかがわの「里海」の姿について解説しました。



続いてグループディスカッションを行いました。講師から、「ゲームは参加者が異なればプロセスや結果が変わり、これは里海づくりでも似ている」と説明がありました。そこで、里海づくりをテーマにしたゲーム制作の第一歩として、「里海づくりのメリットは何か?」「里海づくりにつながる要素(活動)はどんなものがあるか」について話し合いました。里海づくりを行うことで手に入るものとして、美味しい魚や美しい景観、また意識の向上や将来の経済負担の減少に繋がるといった意見が出ました。また里海づくりにつながる活動として、個人・企業・自治体の3者それぞれの立場を想定し、個人であればマイボトル持参、企業であれば環境に配慮された包装資材、行政ではサポートや指導教育の補助が必要といった意見が出ました。